

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 V Fーコンク S P
会社名 株式会社ジャヴス
住所 〒551-0021 大阪市大正区南恩加島 5 丁目 8 番 6 号
担当者 木村光伸
電話番号 0 6ー6 5 5 1ー0 7 1 0
F A X 番号 0 6ー6 5 5 4ー7 6 5 9
推奨用途 ドライクリーニング用洗剤
整理番号 JVS-11

2. 危険有害性の要約

G H S 分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分 4

人健康有害性

急性毒性 (経口) : 区分外

急性毒性 (経皮) : 区分外

皮膚腐食性・刺激性 : 区分外

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 2 A

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 区分 1

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 分類できない

特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 分類できない

吸引性呼吸器有害性 : 区分外

環境有害性

水生環境急性有害性 : 区分 1

水生環境慢性有害性 : 分類できない

ラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : 可燃性液体
 皮膚刺激
 強い眼刺激
 アレルギー性皮膚反応をおこすおそれ
 水生生物に非常に強い毒性

注意書き :

(予防策) 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
 汚染された作業衣は作業場からださないこと。
 取り扱い後はよく洗う。
 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源 から遠ざけること。禁煙
 環境への放出を避けること。

(対応) 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断／手当を受けること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。
 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当を受けること。
 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。

(保管) 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 密閉容器に保管すること。

(廃棄) 内容物／容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有量

成分 : 非イオン界面活性剤、シリコーン、カチオン界面活性剤、グリ
 コール系溶剤

含有量 : 非公開
 ポリ(オキシエチレン)＝アルキル＝エーテル(C=12-15) 約50%

官報公示整理番号(化審法・安衛法) : 各成分は登録掲載の化学物質

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。皮膚
 刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受けること。

目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。
 その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当
 を受ける。

飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護 : 特にない。

医師に対する注意事項 : 有害な物質を含むため特に注意が必要である。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、炭酸ガス消火剤、砂、霧状水
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 火災時の特有の危険有害性 : 情報なし
- 特有の消火方法 : 消火作業は可能な限り、風上から行う。移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移動する。移動が出来ないときは、容器に水を注水して冷却する。火災発生現場の周りに関係者以外の立ち入りを禁止する。
火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤で消火する。初期消火には水、粉末消火剤を使用する。
大規模火災の時は、泡消火剤で空気遮断の消火が有効である。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 作業の際は適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を回収する。
環境への放出を避ける。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
水生生物に非常に強い毒性があるため注意を要する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 :
少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
多量の場合は、土砂等で囲って流出を防止し、スコップまたは吸引機などで空容器に回収する。
漏出したものをすくいとり、または掃き集めてドラム等に回収する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。
回収物の収納容器は、内容物の処分を行うまで密閉しておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 局所排気・全体換気 : 8. 暴露防止及び保護措置を参照。
- 注意事項 : 火気注意。眼及び皮膚への接触を避ける。
- 安全取扱い注意事項 : 作業場の換気を十分行う。
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 保管
- 技術的対策 : 炎および高温のものから遠ざける。
- 適切な保管条件 : 換気の良い場所で保管する。涼しいところに置く。
火気厳禁。
- 安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。 高濃度蒸気発生下では、換気装置を設ける。
管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	: 設定されていない
保護具	
呼吸器用の保護具	: 必要により有機溶剤用防毒マスク
手の保護具	: 不浸透性（耐薬品、耐油、耐溶剤）保護手袋
目の保護具	: 側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型または全面）
皮膚及び身体の保護具	: 静電気防止加工長袖作業衣
適切な衛生対策	: 情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
外観	: 微黄色～淡黄色透明液状
臭い	: 特異臭
pH	: 約 5（1%水溶液）
物理学的状態が変化する特定の温度／温度範囲	
沸点	: データなし
融点	: データなし
引火点	: 77℃
自然発火温度	: データなし
爆発特性	
爆発限界	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重	: 約0.9（20℃）
溶解性	: 水／任意に溶解する
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 安定
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 高温
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 区分外	構成成分からの計算値
急性毒性（経皮）	: 区分外	構成成分からの計算値
皮膚腐食性・刺激性	: 皮膚刺激	構成成分から判断
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 強い眼刺激	構成成分から判断
呼吸器感作性	: 情報なし	
皮膚感作性	: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ	構成成分から判断
生殖細胞変異原性	: 情報なし	
発がん性	: 情報なし	

生殖毒性 : 情報なし
 特定標の臓器 (単回暴露) : 情報なし
 特定標の臓器 (反復暴露) : 情報なし
 吸引力呼吸器有害性 : 区分外 構成成分から判断

12. 環境影響情報

残留性／分解性	：情報なし		
生体蓄積性	：情報なし		
生態毒性			
魚毒性（ヒメダカ/96 時間）	：LC ₅₀	水生生物に非常に強い毒性	構成成分から判断
その他	：BOD	データなし	
	COD	データなし	
土壌中の移動性	：情報なし		

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 環境への放出を避ける。 内容物／容器を国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
汚染容器・包装	: 内容物／容器を国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること

14. 輸送上の注意

国内法規制	: 消防法 危険物 第四類 第3油類 (水溶性)
国連番号	: 3082
品名	: 環境有害物質 (液体)
国連分類	: クラス 9 (有害性物質)
容器等級	: III
海洋汚染物質	: 該当
応急措置指針番号	: 127

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 該当しない
毒劇物取締法	: 該当しない
化学物質管理促進法（P R T R法）	: 第一種指定化学物質 政令番号 1－407 ポリ(オキエチレン)=アルキル=エーテル(C=12-15) 約50%含有
化審法	: 優先評価化学物質 α -アルキル(C=9-15)- ω -ヒドロキシポリ(オキエチレン)
消防法	: 危険物 第四類 第3石油類（水溶性） 危険等級Ⅲ 指定数量4000L
船舶安全法	: 有害性物質
航空法	: 有害性物質
海洋汚染防止法	: 海洋汚染物質
火薬類取締法	: 該当しない
高圧ガス保安法	: 該当しない

16. その他の情報

記載内容の問い合わせ先：株式会社ジャヴス
電話番号 06-6551-0710
FAX番号 06-6554-7659

※記載内容は、作成時点で入手出来た知見に基づくものであり、情報の正確さや危険性、有害性を保証するものではありません。新しい知見に基づき改訂される事があります。

※化学品には予見出来ない危険性・有害性があり、取り扱いには細心の注意を払ってください。